



リニューアル
しました

議会だより

しみず

3月定例会

新年度予算可決 新保育施設 建設に着手 2~3

特集 ここが聞きたい! 新年度予算 4~5

町政を問う 7人の議員が一般質問 8~15

議会報告会と町民との意見交換会を開催 17

北海道清水町

2019年(令和元年)5月

No.157

建設に着手

建設事業費に11億3,156万円計上

子育て支援に重点



3月定例会のあらまし

3月定例会は3月5日から19日までの15日間を会期に開かれました。初日の本会議では行政報告、町政執行方針、教育行政執行方針が示され、新年度予算と関連条例、補正予算の提案がありました。新年度予算と関連条例については平成31年度予算審査特別委員会（桜井崇裕委員長）を設置し、3月13日から15日の3日間で審査を行いました。3月11日と12日の2日間で行われた一般質問では7人の議員が登壇し、行政課題などについて質問をしました。最終日の3月19日は、予算審査特別委員会の審査報告、条例、補正予算、町道の路線廃止・認定、人事案件、意見書について審議しました。今定例会で提案された議案は、すべて原案のとおり可決しました。

新年度の予算総額は
135億9380万円

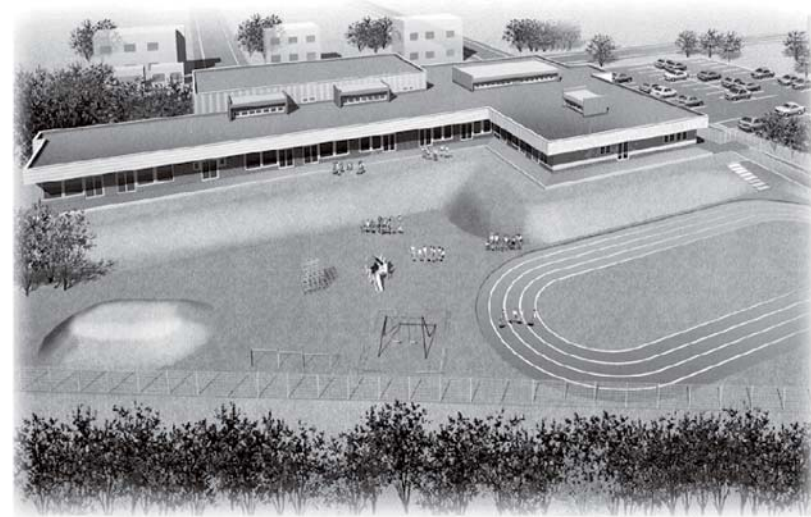
成31年度の一般会計と3特別会計及び2企業会計を合わせた当初予算総額は135億9380万円（前年度比3・6%増）となりました。

このうち一般会計予算額は、99億7000万円（前年度比5億6000万円（6・0%）の増となりました。

増額の主な要因は、平成28年の台風10号災害で課題となっていた防災行政無線の更新、老朽化が

進んでいた第一保育所と第二保育所を統合する新しい保育施設の建設（将来的には幼稚園も統合）、ごみ処理の広域化に伴う十勝圏複合事務組合への加入時分負担金、清掃センターのリサイクル施設への転換、文化センターの大規模改修、共栄橋の災害復旧、交通弱者の移動を支援する地域公共交通確保事業などが挙げられます。

※詳細は広報しみず4月号に掲載されています。



保育施設 完成イメージ

新保育施設

2保育所を統合、令和2年4月に開所

移住定住促進や



新年度
予算を
可決

ここにも注目！ 新年度予算

防災行政無線
全世界帯に受信機を
無償貸与
3億8790万円

老朽化に加え大雨時に情報が聞き取りにくい状況もあり、防災行政無線を更新します。室内にいても避難情報などが確実に伝わるよう戸別受信機が全世界帯に無償で貸与されます。

賃貸住宅を建設する方
リフォームする方へ
費用の一部を助成
計1400万円

本町は単身者用の賃貸住宅に比べ、世帯向けの賃貸住宅が少なく、公営住宅は所得制限や保証人2人（うち1人は清水町民）が必要のため移住者が入居しにくい現状があります。世帯向け賃貸住宅の建設を促し、移住者の増加

と定住を目指し、オーナーへ建設費用、リフォーム費用の一部を助成します。

清水赤十字病院の
運営費を助成
1億円

清水赤十字病院の不採算部門運営費等について、新年度も継続して助成します。

消防団員の
活動服を更新
192万円

消防団員服制基準の改正で活動服の様子が変わったことに伴い、清水・御影両消防団員の活動服83着（全員分）を更新します。

小中学校の保健室に
エアコンを整備
190万円

猛暑による体調不良などを考慮し、全小中学校の保健室にエアコンが設置されます。



子育てサポート、出産祝金、不妊・不育症治療費助成など、子育てに関連する支援事業も拡充されました

賛成討論（要約）

鈴木孝寿 議員

平成31年度一般会計予算に対する
保育施設建設工事は、稼働に向けてしっかりとソフト面の充実を図っていただきたい。防災行政無線更新事業は、町民の安心安全につながる大きなアイテムになるが、引き続き防災・減災に向けて取り組んでいただきたい。政策予算全般に人口減少対策が念頭に置かれ、新しい事業の展開が見られることは非常に望ましい。政策課題に対するアプローチの方法に大きな差異はあるものの、目的とする未来のかたちに相違点は少ない。職員が前向きに安心して仕事ができる環境を構築していただくことを強く申し入れ、賛成する。



新年度予算



平成31年度（2019年度）の一般会計と特別会計及び企業会計の当初予算案と関連条例は、議長を除く12名で構成する「平成31年度 予算審査特別委員会（桜井崇裕委員長）」を設置し、審査を行いました。

町政全般にわたる数多くの質疑の中から、いくつかお知らせします。

廃屋解体事業を 住居以外へ拡充する考えは

【鈴木孝寿 委員】
質疑 住居以外の事業用資産の廃屋に対しても解体費補助を行うなど、拡大の考えはないか。

【山下清美 委員】
質疑 子ども110番制度が理解される取り組みを

【鈴木孝寿 委員】
答弁 現在は、住居を対象としているが、市街地の景観保持、防犯、倒壊の危険など総合的に考え、対象を拡大するか検討していく。

子ども110番制度が 理解される取り組みを

【山下清美 委員】
質疑 子ども110番制度の仕組みや役割が、子どもや保護者を含め、地域全体に周知が徹底されていないのではないか。

【佐藤幸一 委員】
質疑 世帯向けの住宅は不足しているのか。新築物件への転居により、既存の借家が空き家とならないか。

【山下清美 委員】
答弁 現在100件の以上の家はこの制度の役割を担っている。子どもの安全を守るために、広く周知を図っていく。

賃貸住宅建設補助金は 既存事業者の経営を圧迫しないか

【佐藤幸一 委員】
質疑 世帯向けの住宅は不足しているのか。新築物件への転居により、既存の借家が空き家とならないか。

【口田邦男 委員】
質疑 本町の特定健診受診率は管内でも低い状態が続いているが、どのような対策を講じているのか。

【佐藤幸一 委員】
答弁 移住相談を受けても世帯向けの住宅が見つからない。既存の世帯向け賃貸住宅に対しては改修費の助成を新たに言い、町外からの通勤者の転入促進を図るとともに新婚世帯などの転出を抑制する。

特定健診の受診率向上対策は

【口田邦男 委員】
質疑 本町の特定健診受診率は管内でも低い状態が続いているが、どのような対策を講じているのか。

【深沼達生 委員】
質疑 農地環境保全対策に農村部の11地区で取り組んでいるが、高齢化や担い手不足により、活動の停滞が危惧されるが対策はあるか。

【口田邦男 委員】
答弁 と依然として低い状況である。保健師等が家庭訪問するなどし、生活習慣病等の早期発見・早期治療の大切さを理解してもらえよう、引き続き周知していく。

多面的機能支払事業の 支援策は

【深沼達生 委員】
質疑 農地環境保全対策に農村部の11地区で取り組んでいるが、高齢化や担い手不足により、活動の停滞が危惧されるが対策はあるか。

【川上均 委員】
質疑 文化センターの改修に伴い、舞台装置等の操作も難しくなったことだが、将来的に指定管理者制度の導入の考えはあるのか。

【深沼達生 委員】
答弁 農地や水路等の良好な環境を保つために有効な補助制度であり、地域の声を聞きながら、できるだけ活動しやすいよう支援を行っていく。

文化センターに 指定管理者制度導入の考えは

【川上均 委員】
質疑 文化センターの改修に伴い、舞台装置等の操作も難しくなったことだが、将来的に指定管理者制度の導入の考えはあるのか。

【中島里司 委員】
質疑 清水公園近くの町有地も活用して、一体的に整備することも検討してはどうか。

【川上均 委員】
答弁 現在は、舞台装置の操作は職員が担い、一部委託している。今後、指定管理者制度の導入に向け、検討していく。

ふるさとワーキングホリデー 推進事業 導入の効果は

【高橋政悦 委員】
質疑 国の制度を活用し、都市部の若者を受け入れたが、もともと本町の良さを積極的にアピールする姿勢が必要ではないか。

【西山輝和 委員】
質疑 防災無線の屋外スピーカーの更新と戸別受信機の新たな整備で予算を計上しているが、非常時の避難情報等の利用に限るのか。

【高橋政悦 委員】
答弁 道外都市部の若者が一定期間町内で働き、暮らし体験をした。数年後に清水町を移住先の選択肢の一つとして良い印象を持ってもらえるよう取り組んでいく。

防災無線の受信機を 全戸へ配布するが、 活用方法は

【西山輝和 委員】
質疑 防災無線の屋外スピーカーの更新と戸別受信機の新たな整備で予算を計上しているが、非常時の避難情報等の利用に限るのか。

【中島里司 委員】
質疑 清水公園近くの町有地も活用して、一体的に整備することも検討してはどうか。

【西山輝和 委員】
答弁 戸別受信機は全世帯へ無償で貸付を行う。非常時は気象情報や避難情報を送るほか、機器の受信状況の確認を兼ねて、平常時にも行政情報の放送を定期的に行う。



清水公園を どのように再整備する のか

【中島里司 委員】
質疑 清水公園近くの町有地も活用して、一体的に整備することも検討してはどうか。

【秋萩康子 委員】
質疑 部活バスの降車場所の見直しはできないか。

【中島里司 委員】
答弁 ながら基本構想を策定する。清水公園、体育館及びペケレの森のエリア、さらに既存の町有地を調査した上で、町内外の方が訪れる場所になるよう整備の検討をする。

部活バス利用者の 降車場所の見直しは できないか

【秋萩康子 委員】
質疑 部活バスの降車場所は限られており、数キロ先の自宅まで徒歩で帰る生徒もいる。登校時の乗車場所と同様の場所で降車できるようにならないか。

【中島里司 委員】
質疑 部活バスの降車場所は限られており、数キロ先の自宅まで徒歩で帰る生徒もいる。登校時の乗車場所と同様の場所で降車できるようにならないか。

【中島里司 委員】
答弁 中学校の部活は終了後のバス転手の勤務時間等の問題もあるが、可能な限り通常の停留所で降車できるように検討する。



行政報告 (3月5日)

▼スクールバスによる交通事故について

平成31年2月12日、御影小学校1年生20名、2年生17名、引率教員5名が乗車したスクールバスが、芽室町の町道交差点で乗用車と衝突し、路外へ逸脱した。
児童37名中、右足甲付近のヒビの疑い1名、唇の裂傷2名、打撲による鼻血2名、その他多数の児童が打撲等の症状を訴え、引率教員は口中裂傷による縫合1名、打撲4名であった。スクールバスの運転業務員は、腰椎圧迫骨折と診断され入院しており、相手車両を運転していた男性は、胸部骨折により入院中で、他に同乗者はいなかった。
事故が発生した交差点は相手方に一時停止の標識がある交差点で、詳しい事故の原因については調査中である。

条例

▼森林環境譲与税基金条例の制定

国から各自治体に譲与される「森林環境譲与税」を基金として積み立て、必要に応じて活用するための条例
【全員賛成で可決】

▼学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

国から各自治体に譲与される「森林環境譲与税」を基金として積み立て、必要に応じて活用するための条例
【全員賛成で可決】

資格要件を定めている条例について、新しく設けられた専門職大学等に關する文言を付け加える必要があり、関係条例を一括して改正するための条例
【全員賛成で可決】

▼議会の議決すべき事項に関する条例の一部改正

総合計画の基本構想及び基本計画の策定について、議会の議決事項とする改正
【全員賛成で可決】

▼いきいきふるさとづくり寄附条例の一部改正

5項目あるふるさと納税の使途に2項目(人口減少対策支援事業・いきいきふるさとづくり寄附推進事業)を追加する改正
【全員賛成で可決】

▼職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

働き方改革により時間外労働に上限規制が導入されたことによる改正
【全員賛成で可決】

▼非常勤職員の報酬及び費用弁償条例の一部改正

コミュニティ・スクールの導入により、これまでの学校支援委員の役割を学校運営協議会委員に移行する改正
【全員賛成で可決】

▼防災行政無線戸別受信機分担金条例の廃止

防災行政無線の更新により戸別受信機を全世界帯に貸与することに伴い、分担金を徴収する根拠法令に該当しなくなるため条例を廃止
【全員賛成で可決】

▼清水町立学校に学校支援委員を設置する条例の廃止

コミュニティ・スクールの導入に伴い、これまでの学校支援委員の役割を学校運営協議会委員に移行することによる廃止
【全員賛成で可決】

補正予算

▼平成30年度一般会計補正予算(第12号・第13号)

7473万円を減額し、予算総額を99億2710万6000円とした。
主な内容は、事業費の確定又は決算見込みによる不用額の整理で、増額補正は、選挙ポスター掲示場設置等委託料、環境保全型農業直接支援対策事業交付金、地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金など。
【全員賛成で可決】

▼平成30年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第4号)

広域連合納付金の確定見込みにより、571万2000円を追加し、予算総額を1億7292万3000円とした。
【全員賛成で可決】

▼平成30年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

介護サービス費の確定見込みにより、4075万3000円を減額し、予算総額を11億2175万円とした。
【全員賛成で可決】

意見書

▼地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員(※)の処遇改善と雇用安定に関する意見書

各自治体において、法の改正趣旨が十分に反映されるよう、必要な財源の確保について特段の配慮を求め、パートタイム労働法の趣旨を、「会計年度任用職員」に適用させるよう法整備を図り、パートタイムの「会計年度任用職員」に勤勉手当や退職手当の支給を認めない地方自治法を改正することを求めるもの。
【全員賛成で可決】

◇提出先

- 内閣総理大臣
- 総務大臣
- 財務大臣
- 厚生労働大臣
- 内閣官房長官

人事

▼人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員に猪早紀子さん(文京)を候補者として推薦したい旨の町長提案があり、議会は「適任」としました。



猪早紀子 さん

▼公平委員会委員の選任

公平委員会委員に赤堀浩二さん(西都)を選任したい旨の町長提案があり、議会は「同意」としました。



赤堀浩二 さん

その他の議案

▼町道の路線廃止

【路線名】清和南2条道路
【起点】南2条12丁目2番1地先【終点】南2条12丁目19番2地先
【全員賛成で可決】

▼町道の路線認定

【路線名】清和南2条道路
【起点】南2条12丁目2番3地先【終点】南2条12丁目30番地先
【全員賛成で可決】

みなさんからの 請願 はこうなりました

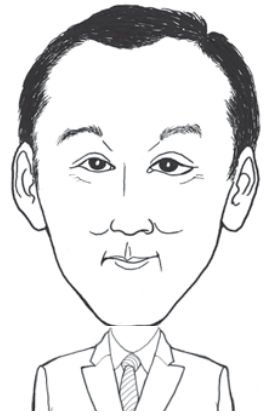
3月定例会前に受理した請願は1件でした。
常任委員会に審査を付託した結果、次のとおり決定となりました。

件名	提出者	紹介議員	審査委員会	委員会結果	本会議での採択と措置
地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書の請願について	日本労働組合総連合会 北海道連合会清水地区連合会 会長 菅原 克見	川上 均	総務産業	採 択	採 択 意見書を提出

会計年度任用職員制度とは

2020年4月から施行される制度で、地方自治体で働く臨時職員・非常勤職員が対象。期末手当が支給可能になり、フルタイム勤務なら退職手当など諸手当の支給や地方公務員共済、災害補償制度が適用になるが、すべては各自治体の判断になる。

正規職員と同じ週38時間45分が「フルタイムの会計年度任用職員」、正規職員より1分でも短い勤務時間だと「パートタイムの会計年度任用職員」となる。



山下 清美 議員



建設中のバイオガスプラント（美蔓）

家畜のふん尿対策は

町長 資源循環型農業を推進している

問 町内の牛は3万6千頭以上飼育され、規模拡大に伴うふん尿処理が課題である。バイオガスプラントは、現在稼働中の施設、整備中の美蔓地区、また、羽帯地区でも検討中であるが、他の地区の状況は。

町長 上羽帯地区でも検討を進めようとしていたが、北海道電力の送電線に空容量がないため進められない。十勝全体の動きと連携しながらプラントの

問 第5期清水町総合計画に「資源循環型農業の推進」とあるが、本町における資源循環の現状は。

町長 耕畜連携による麦かん

町長 社会参画を表現するた

問 活動の場の提供としては老人福祉センターや世帯間交流センター、各福祉館を設置しており、老人クラブ活動をはじめとしたサークル活動やサロン活動等が行われている。高齢者タクシー乗券券助成など今後も活動の支援と周知を図っていく。

町長 保健福祉課職員が家庭訪問を随時行っているほか、各介護保険事業所、見守り活動をしている町内会等からの情報提供により把握に努めている。

高齢者世帯の実態把握の現状は

町長 家庭訪問や町内会等との連携により把握に努めている

問 第5期清水町総合計画に、「高齢者の社会参画の推進」とあるが、活動支援の現状は。

町長 社会参画を表現するた

問 同じく第5期清水町総合計画に、「自立して暮らせる地域づくり」とあるが、高齢者世帯の実態把握の現状は。

問 コミュニティ・スクールの立ち上げに向けて検討しているが、しみず「教育の四季」の実践推進方法との違いは。

問 子育てが終わった世帯とのつながりをどのようになっているのか。

コミュニティ・スクールの導入は

教育長 “しみず「教育の四季」”の実践を基軸に移行する

教育長 しみず「教育の四季」の取り組みは、コミュニティ・スクールでうたわれている「地域とともにある学校づくり」そのものであり、その実践を基軸にコミュニティ・スクー

教育長 新年度よりコミュニティ・スクールコーディネーターを配置し、町民総ぐるみの教育活動へつなげていく。

町政を問う！ 一般質問

3月定例会では7人の議員が14項目にわたり一般質問を行いました。質問と答弁は要約して掲載しています。

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



山下 清美 議員 9

- ・家畜のふん尿対策について
- ・高齢者の状況について
- ・コミュニティ・スクールについて



口田 邦男 議員 10

- ・本町における不祥事の対応策は
- ・防災対策は万全か



佐藤 幸一 議員 11

- ・JR十勝清水駅の跨線橋対策について
- ・清水高等学校の支援について



鈴木 孝寿 議員 12

- ・観光協会への補助事業の拡大による商工業への振興策について
- ・結婚・少子化対策事業について
- ・立地適正化計画の策定について



中河 つる子 議員 13

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる福祉サービスの提供は



高橋 政悦 議員 14

- ・小学校の時間割配分について
- ・町営住宅を賃貸契約する際の連帯保証人について



川上 均 議員 15

- ・交通弱者に対するモビリティ政策について



口田邦男 議員

問 本町職員、町民団体等で不祥事があった。誠に恥じることで、新聞等で話題となり町の汚点となったことは事実である。

町長 セクハラ・パワハラは何を根拠に認定されるのか。本町に規定はあるのか。

町長 安易に認定することは職場での指示や指導に影響を及ぼすのではないかとと思うが、そうした心配はないのか。

不祥事への対応は

町長 良好な職場環境づくりに努める

町長 パワーハラ、セクハラ、パワハラは否かの判断は、言動等が適正な業務の範囲なのか、

攻撃的か、社会通念上許されるかなどを多角的に判断する。今回は、関係者の聞き取りを基に事実関係を認定し処分した。今後はハラスメント防止要綱の周知徹底を図り、円滑な業務執行に努める。

問 全国的に話題となったアイスホッケーチームの事案はど

防災対策は万全か

町長 大雨や大地震を想定した避難訓練を定期的に行う

問 平成28年の台風10号と同等か、それ以上の規模の台風が来たらどうなるのか、最悪の場合の想定はできているか。

町長 甚大な災害を防ぐことは難しいが、町民の命を守ることを最優先に、避難勧告の発令等を適切に行いたい。最悪の場合の想定はいろいろ考えられ

るが、状況に応じて適宜対応できるように各方面と協定を結ぶなど、対策は講じている。

問 胆振東部地震でのブラックアウトによる被害と対策は。

町長 約2日の停電で、生乳廃棄、冷蔵・冷凍商品廃棄や工場稼働停止などの影響が出た。酪農家の非

常用電源の整備等に補助支援策を講じ、商工業者には運転資金融資無利子制度などの周知を行った。

問 近い将来、大地震は起こりえる。早急に対応すべきと考えますが、対策を伺う。

町長 普段から自分の命は自分で守るを基本に、自主防災組織活動に対しては

職員を派遣し支援していく。

問 あらゆる災害を想定した全町的な防災訓練を行うべきと考えますが、いかがか。

町長 昨年、大雨洪水を想定した避難訓練を行った。今後も大雨や大地震を想定した避難訓練を定期的に行う。



平成28年の台風10号による大雨で氾濫したペケレベツ川の現在の様子



佐藤幸一 議員

町長 安全面を最優先に考えると設置は困難

JR十勝清水駅に構内通路を設置しては

問 エレベーターの設置には多大な費用を要し、早急な対応は困難であるとのことなので、財政負担が少ない対策を提案したい。「構内通路」「構内踏切」を設置してはどうか。跨線橋を使わずに駅舎とホームが結ばれる。

全国的には跨線橋や地下道の整備、駅舎の高床

化等により減少傾向にあるようだが、地方の駅ではバリアフリー化のため導入している事例もある。北海道でもJR石北線の網走駅構内や女満別駅構内、函館本線の中ノ沢駅、仁山駅、野田生駅など多数設置されている。設置者はあくまでも鉄道事業者となるので、町長が先頭に立って期成会



健康な人でも、重い荷物を持って長い階段を上るのはつらい...

町長 「構内通路」についてJR北海道釧路支社に尋ねたところ、道内にもいくつか設置されているようであるが、そのいずれも国鉄時代に設置されたものであり、安全性の確保のため新たな構内通路の設置は行っていないとのこと。

列車乗降利用者の安全面を最優先に考えると、設置は困難である。

清水高等学校の振興は

教育長 ニーズを把握し、支援策を検討する



清水高等学校の生徒会でも、魅力ある学校づくりに向けた調査・研究が行われている

問 教育行政執行方針に「清水高等学校の振興」とあるが、3行のみで取り組み方がわからない。

12月の定例会で教育長は、「プロジェクトチームの設置により意見やアイデアを提案してもらっている」と言っていたが、どのような提案があったのか。

遠方から通学する生徒の昼食の確保についてはその後どうなっているのか。

教育長 具体的な意見や提案は現在検討中で、今後は高校生・中学生を対象にアンケート調査を行い、高校を選ぶ上で何を基準とするのかニーズを把握し、その結果を基に具体的な支援策を検討する。

昼食の確保として学校給食の提供は考えていない。高校の生徒会でも改善に向けて何らかの対応を検討しており、その結果により手伝えることがあれば協力していく。



鈴木孝寿 議員

観光協会への補助事業 公平性を保つためには拡大を

町長 拡大せず既存の各種事業で 支援する

問 町が事業者へ工事費用を100%負担する事業及び委託契約として人件費相当分を観光協会を経由して3年間継続する事業の総額が1500万円に上る。

町内の農業や商工業の事業者への振興策と比べると過度な優遇措置と思われる。

より公平性を保つために交流人口の増加を目指す事業者へ本政策の拡大を求めたいと思うが、その考えを伺う。

町長 台風災害に おいて事業者が休業となった大きな

要因である排水処理について町が補助を行った。観光協会が行っている観光案内と物販業務の機能を清水公園内に設け、災害前の集客力や情報発信力の再現を目指す委託事業は継続する。

清水公園を拠点とすることで交流人口の増加を目指し、既存の飲食店や物販店への誘客を目指している。

商工業者へは現在町で行っている各種事業により今後も支援を行う。



観光拠点となる清水公園の池は、池の下を通っている水道石綿管の更新工事と合わせて、2020年度以降に再整備される予定

結婚・少子化対策事業の 今後の進め方は

町長 各種事業に参加しやすい 環境づくりを行う

問 各種調査における結婚の障害は、結婚資金の問題が男女とも最上位にあることから、入口となる出会いも大切であるが、結婚生活に対して国がすすめる結婚新生活支援事業を行うことが重要で、入口事業だけが

でなく結婚をするための出口事業も併せて行わなければ、結婚・少子化対策は不十分と考える。

また、事業形態の一部において職員の勤務状況が法令に抵触する恐れがあるのでは正すべきと考えられるかが。

町長 入口である 出会いを創出することが重要と捉えて事業の推進にあたっている。まずは、各種事業に参加しやすい環境づくりを行い、効果が出るには時間がかかる事業であるが、新年度も引き続き庁内ワーキングチームと町民出会いサポーターの力を借りながらこれらの事業に取り組みたい。

職員の勤務については、法令に抵触しないよう十分注意する。

立地適正化計画の策定は

町長 必要に応じて策定を考える

問 管内のほぼすべての町村においてマスタープランが作成されているが、本町はまだ作成されていない。より高度な立地適正化計画はマスタープランがなければ作ることができない。まちづくりに必要な計画なくして何を基準にまちづくりを行うのか。

町長 都市計画補助事業の終了により未策定となっている都市計画マスタープランであるが、今後必要に応じて策定を考えていきたい。

また、公共施設等の建築に際しては町有地の未利用地を有効活用していく。



中河つる子 議員

高齢者が住み慣れた地域で 安心して生活できる施策を

町長 各種制度を通じて高齢者の生活支援に取り組み

問 本町も高齢化が進み、高齢者は一日でも長く元気に、自分のことは自分でできる生活を目指して日々努力している。そのような努力をしてもいつかは元気でいられなくなり体が思うように動かせなくなる。そうなったときにどのよう暮らししていくかは皆さんの大きな心配事である。

第5期清水町総合計画の「高齢者の暮らしと社会参画」の現況と課題に「高齢者が互いに支え合うとともに、地域ぐるみでその生活を守る体制をつくる必要がある」とあり、基本目標として「住み慣れた地域で安心して生活できる高齢者福祉サービス」の提供を目指す。

とあるが、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくための本町の具体的な施策の構想について伺う。

町長 高齢者の日常生活を支えるため、給食サービスや移送サービス、除雪サービスなどの在宅福祉サービスを提供している。

このほかにも高齢者タクシー乗車券の助成や見守り安心事業、緊急通報機器設置事業などにより、日常的な移動手段の確保や安否確認、急病等の緊急時の対応を行っており、このような制度を通じて、今後においても高齢者の生活支援に取り組んでいく。

問 本町にも高齢者が安心して住むことのできる家（空き家の利用も含む）、例えば高齢者下宿やケアハウスのようなものがあつたら、老人ホームや介護施設に入るまでの間、住み慣れた地域に住むことができると考える。本町のそうした施設の設置に向けた取組状況を伺う。

の高齢者福祉計画、介護保険事業計画の策定の際に行うアンケート調査によりニーズを把握し、必要があれば計画に盛り込んでいくなどの対応をしていく。

一般質問はインターネットによる生中継のほか、録画中継も配信しています。議会のホームページからお進みください。

北海道清水町議会

クリック



身近な場所で気軽に集まり、楽しく交流する「高齢者サロン」での活動は、近隣の助け合いや支え合いを育み、元気に暮らすきっかけに



高橋 政悦 議員

授業時数の確保を どう考えているか

教育長 学校運営協議会を通じて保護者や地域住民の意見も反映させたい

カリキュラム・マネジメント … 学校の教育目標の実現に向けて、子どもや地域の実態を踏まえ、教育課程（カリキュラム）を編成・実施評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進していくこと

問 2020年度から全面実施される小学校の次期学習指導要領では、英語の教科化などに伴って、標準授業時数が3年生以上でそれぞれ年間35時間分増えると聞いている。

子どもたちにとって、どんな時間割や授業日数がふさわしいのか、保護者・地域も一緒になって考えていく必要があると思うが、本町の考える効果的な「カリキュラム・マネジメント」について伺う。

教育長

3・4年生が「外国語活動」として年35時間、5・6年生については「外国語科」として年70時間の授業時数を確保する必要があります。スムーズに移行できるように、新年度（2019年度）から授業時数を確保していく。社会に開かれた教育課程の在り方については、校内だけでなく、保

護者や地域の人々を巻き込んだカリキュラム・マネジメントの確立が重要とされている。学校運営協議会を通じて保護者や地域住民等の意見を吸い上げ、学校運営に反映させることにより、「社会に開かれた教育課程」の実現につながるよう取り組んでいく。

連帯保証人の要件緩和を

町長 管内状況等を踏まえて検討する

問 本町が求めている町営住宅の連帯保証人は、「町内に住所を有する者2名（ただし、1名に限り2親等以内の町外在住者にする事ができる）」としている。

他の市町村から転入・移住しようと考えている方が町内在住の連帯保証人を探すことは難しいことだと思ふ。セーフティネットとしての役割が求められる本

町の公営住宅において、連帯保証人のこうした地域要件が定められている理由を伺う。

また、連絡を取ることが可能であれば、その要件を日本国内に在住の方まで広げるべきだと考えるが見解を伺う。

町長

町営住宅又は共同施設の保管義務や家賃の納付義務を遵守させること、

これに違反したときに連帯としての責務を保証する目的で2名の連帯保証人を設定している。本町在住者としているのは、入居者の安否確認の立ち会いや、問題行動などが発生した場合に速やかな対応が可能であり、早期の対応につながるためである。家族構成の現状及び管内状況も踏まえ、要件の緩和について検討する。

交通弱者に対するモビリティ政策は

町長 予約型乗合タクシーを終了し、交通弱者支援事業の試験運行を実施したい

問 子どもや高齢者、障害者の移動手段には制限があり、安心して暮らしていくための施策として、コミュニティバス、予約型乗合タクシー、清水帯広間の路線バスを運行している。

現在のコミュニティバスは平日運行であるが、

町長

土曜日の運行については、スーパーの特売日である土曜日にも運行できないか。

問

朝のコミュニティバスと路線バスを接続できないか。帯広方面の医療機関利用者にとって路線バスはJRよりも利便性が良く、利用者増が見込めるのでは。

問

高齢化により交通弱者が増え続け、停留所にも行けないなど、将来的にもタクシーへの転換がこれらの解決につながる経費も削減できると考える。費用対効果の試算と将来的な方針について伺う。

地区を巡回するのに約1時間かかることから、清水帯広線バスの「十勝清水駅前発8時20分」への接続は困難である。

るが、利用されている方に支障がないよう、社会福祉協議会と連携して、交通弱者支援事業の試験運行を考えている。現在のコミュニティバスの更新時期までには、近隣の町で実施しているタクシー助成事業などの状況を調査し、費用対効果も含め、コミュニティバスの在り方について住民や公共交通活性化協議会とともに十分に研究していく。

モビリティ政策 … 1人1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策



川上 均 議員

町長

清水地区の巡回は午前8時から午後5時までで、一人の運転手による運業務の範囲で実施しており、コミュニティバスが

町長

予約型乗合タクシーを実際に利用した方は延べ32名、実数では5名と少ない状況であり、実証運行は平成30年度で終了す



車体の側面に第九のメロディー音符が描かれ、明るい雰囲気となったコミュニティバス

議会報告会と町民との意見交換会

平成30年度の活動報告と、
2つのテーマに沿って意見交換を行います。

申込み
不要

議会の活動と役割を知っていただき、ご意見などをお聞かせいただくため、今年で6回目となる「議会報告会と町民との意見交換会」を開催します。お気軽にお越しください。

意見交換会テーマ

- ① 防災対策について
- ② 未来の子育てについて

日時・会場	担当議員
5月28日（火） 午後7時～（午後9時終了予定） 文化センター 2階会議室	中島里司・川上 均・佐藤幸一 高橋政悦・鈴木孝寿・深沼達生 桜井崇裕・加来良明
5月29日（水） 午後7時～（午後9時終了予定） 御影公民館 2階講義室	山下清美・奥秋康子・西山輝和 口田邦男・川上 均・中河つる子 桜井崇裕・加来良明



改選後初めての開催です。会場でお待ちしています。

お問い合わせ 清水町議会事務局 ☎ 62-3317

議会のうごき

（2月15日～5月14日）

2月	15日・22日 全員協議会
	19日・26日 議会運営委員会
3月	1日・19日 広報広聴常任委員会
	5日・11日・12日・19日 第2回町議会定例会
	5日・13日・14日・15日 平成31年度予算審査委員会
	5日・12日 総務産業常任委員会 厚生文教常任委員会
	12日・13日・19日 全員協議会
4月	15日 議会運営委員会
	3日・23日 広報広聴常任委員会
	4日 全員協議会
5月	26日 議会運営委員会
	8日 全員協議会 広報広聴常任委員会

議員の似顔絵を 描いてもらいました！



角田明美 さん

一般質問のページの議員の似顔絵は、御影にお住まいの角田明美さんに描いていただきました。ありがとうございました！

閉会中の委員会活動

6月定例会までの調査事項は次のとおりです。

総務産業常任委員会

- ・循環型農業の現状と課題について
- ・その他所管に関する事項について

厚生文教常任委員会

- ・文化センターの改修状況と今後の運営について
- ・スクールバスの運行について
- ・その他所管に関する事項について

広報広聴常任委員会

- ・議会広報紙の編集及び発行について
- ・その他議会の広報及び広聴に関する事項について

議会運営委員会

- ・議会の運営とその諸規定について
- ・議長の諮問に関する事項について

議会モニターを募集中

活動内容	議会の運営・議会だより・議会ホームページに関して意見を述べていただくほか、アンケートへの回答、議員との意見交換、モニター会議への出席など
任期	2年間
対象	清水町在住の18歳以上の方
募集定員	10人以内
申込方法	6月14日（金）までに議会事務局（役場3階）へお申込みください。 電話：0156-62-3317（直通） FAX：0156-62-5160 メール：gikai@town.shimizu.hokkaido.jp

町民の声

あさ おか ひろ き
浅岡寛喜さん（交和）



「選挙権年齢の引き下げに思う」

10代の投票率が気になり、町選挙管理委員会に尋ねてみました。

1月の町議会議員選挙では18歳が約56%、19歳が約24%。4月7日の道知事選挙では18歳が約41%、19歳が約30%で、全世代平均より20ポイント前後低いとのことでした。

私は今、清水地区秋まつり実行委員会の役員をしています。その中で清水高校の生徒さんに秋まつりのポスターとプログラムのデザインをお願いしています。選挙の投票啓発ポスターも同様にお願ひしてみたいかがでしょうか。ポスター制作の過程で多くのことを考え学ぶ大事な機会になると思います。若い世代には若い人のセンスと力が大きなインパクトとなることでしょう。

選挙権の歴史を見ると、1889年の国政選挙では25歳以上の男子で、直接国税15円以上の納税者であって、公開性（誰が誰に投票したかわかる制度）で行われ、わずかに人口の1%しか選挙権を持っています。

それから56年の壮絶な道のりを経て、20歳以上の男女全てに選挙権が与えられました。私たち自身が私たちの代表を自由に選べるのです。その権利を大切にしたいものです。

10代の有権者の投票率アップに最も大切なことは、有権者の先輩である私たちが棄権することなく必ず投票する行動を示すことであり、しっかりと関心を持って自分で判断して投票するようアドバイスすることであると考えます。

議会を傍聴 してみませんか

開会
6月10日
(月曜日)

6月定例会は6月10日に開会を予定しています。

傍聴は町議会での審議の状況を直接ご覧になることができる身近な方法です。

お気軽にお越しください。

傍聴の手続きは、個人情報保護のため、受付票に住所・氏名を記入し、受付箱に入れる方法に変更しました。

表紙の写真

第一保育所の子どもたち



4月4日、年度始めの第一保育所におじゃましました。子どもたちは元気いっぱい。カメラを向けると我先へと寄ってきて、いろいろなポーズの写真が撮れました。いい写真がたくさん撮れましたが、紹介きれないのが残念です。

撮影：広報広聴常任委員会 川上 均